Allied Telesis

SD-WAN ROUTER Total Networking Solutions

10G対応中小規模向けSD-WANルーター

AT-ARX200S-GTX

5年保証

SASE ZTNA

SSL VPN SD-WAN

10Gマルチギガ対応

AW Plus　AMF Plus　AMF WAN　AMF SEC　AWC　AWC CB　AWC SC

SD-WAN Router

VISTA MANAGER mini

AT-ARX200S-GTX-Z5

※「-Z5」はデリバリースタンダード5年加入権利付き
※ 本データシートでは、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-Tを10/100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tと表記しています。

WANポート
100/1000/2.5G/5G/10GT 1Port自動認識

LANポート
100/1000/2.5G/5G/10GT 2Ports自動認識

10/100/1000T 2Ports自動認識

USB 3.0 1Port

AT-ARX200S-GTXはLAN/WANポート双方で10Gインターフェースに対応し、従来機種よりも高速かつコストパフォーマンスに優れた製品です。

インターフェースの速度は100M/1G/2.5G/5G/10Gとマルチギガに対応し、同じくマルチギガに対応するxシリーズのx240/x250シリーズ、さらには最新の無線LAN規格に対応するAT-TQシリーズのとの親和性が図れます。

AT-ARXシリーズは、xシリーズで培った大容量高速通信性能と、国内回線に最適化された実績あるARアーキテクチャーを融合しています。また、セキュリティー専業ベンダーとの協業で実現する優れた防御機能で、地域連携システムやクラウドシステムへの接続を支えます。

AT-ARXシリーズの強い信頼性・安定性と高い可用性・安全性が、次世代（neXt）インフラの構築を実現し、DXビジネスを成功へと導きます。

LANの帯域を10Gbpsに拡張したにもかかわらず、アプリケーションサービスのパフォーマンスが向上しない環境では、AT-ARX200S-GTXが10GbpsのWAN接続でボトルネックを解消できます。

特に医療/公共/文教/製造市場のDX化促進にともない通信帯域要件が大容量化している点と、大切なデータを脅威から保護するという両面で、AT-ARX200S-GTXがユーザーの要求に応えます。

リモートアクセスやクラウドサービスを最大限に活用するために、AT-ARX200S-GTXが組織内で流れるデータの利用アプリケーションを判別し、システムの稼動状況や業務データの流れを可視化します。

SMBで求められるSD-WANルーターとしてのセキュリティー機能および安定した通信を、AT-ARX200S-GTXが提供します。

OPTION
- 19"ラックマウントキット
- 壁設置ブラケット
- マグネットシート
- スタンドキット
- コンソールケーブル
- L字型電源ケーブル
- フィーチャーライセンス

本体にサポートサービス（デリバリースタンダード）の加入権をバンドルした型番をご用意しています。
デリバリー2、デリバリー6、またはオンサイトサービスをご希望の場合には、加入権がバンドルされていない型番にてご購入いただき、別途有償サポートサービスをご契約ください。

※ 本データシートでは、製品名中の「CentreCOM」を一部省略しています。
※ 弊社では、ネットワークマネージメント・ソフトウェア製品のお試し版を、Webサイトから提供しております。弊社ホームページ（http://www.allied-telesis.co.jp/support/list/nms/）からダウンロードできます。

2025年4月

特長

●次世代各種回線サービスに対応※1

- **IPv6 IPoE + IPv4 over IPv6接続サービス※2**
  NTT東日本/NTT西日本の次世代ネットワーク（NGN）を用いたIPv6およびIPv4接続サービスに対応しております。IPoEにてIPv6インターネット接続しつつ、IPv4 over IPv6トンネルにおいてIPv4インターネット接続が可能になります。
- **モバイルインターネット対応※3**
  USBポートにデータ通信端末を接続することにより、モバイルインターネット接続が可能です。インフラのない環境やバックアップ回線としての利用シーンに応じた柔軟なネットワーク接続が可能です。

※1　接続検証済みのサービスやUSB型データ通信端末は弊社動作検証ページをご参照ください。
https://www.allied-telesis.co.jp/products/interope/index.html#router
※2　国内標準プロビジョニング方式、DS-Lite、MAP-E、IP in IPおよびLightweight 4 over 6に対応しています。
※3　対応USB型データ通信端末が必要です。

●ファイアウォール/UTM

ステートフル・パケット・インスペクション型ファイアウォール（ゾーンベース）やIPSの基本となるセキュリティー機能に加え、レイヤー3ではIPアドレスブラックリスト、レイヤー7ではDPI（ディープパケットインスペクション）やURLフィルターなどに対応した、多重構造の強力なセキュリティーを備えた次世代ファイアウォールです。

- **ステートフル・パケット・インスペクション型ファイアウォール（ゾーンベース）**
  従来のステートフル・パケット・インスペクション型ファイアウォールをゾーンベースに進化させ、ネットワーク環境に合わせた柔軟な設定が可能になります。
- **IPS（侵入防止）**
  プロトコル異常やサービス妨害（DoS）、不正アクセスと思われる異常なイベントなどを検出し、ログ出力や通信を遮断することで、外部からの攻撃を防御することが可能です。
- **アプリケーションコントロール（DPI/Sandvine）**
  アプリケーションコントロール（DPI＝ディープパケットインスペクション）は、パケットのデータ部分を用いて、どのアプリケーションのトラフィックであるかを判別する機能です。
  200種類以上のアプリケーションを判別可能なデータベースを標準搭載し、さらにSandvine社提供の拡張データベース※4で2000種類以上のアプリケーションの判別が可能になります。
  ビジネスで使用されるさまざまなアプリケーションを特定し、アプリケーションごとに帯域制御やポリシーベースルーティング、インターネットブレークアウト等を行うことで回線帯域を有効利用することができます。また、生産性の低いアプリケーションをフィルターすることで業務効率の向上も図れます。
- **Webコントロール（OpenText（Webroot））※5※6**
  Webコントロールは、URLを約80種類以上のカテゴリーに分類したデータベースにより、Webブラウザーからのアクセス禁止・許可をコントロールする機能です。クラウド上のビッグデータ分析基盤（AWS/Hadoop/Cassandra）で稼動する機械学習テクノロジーベースの脅威評価エンジンを採用し、リニアにスケールする処理基盤で大量の脅威評価を瞬時に処理することが可能です。人間では処理できない、膨大な量の判定処理を高い精度かつ短い時間で行い、レピュテーションスコアをもとに最適な対応（ブロック/アラート等）を取ることができます。
- **IPレピュテーション（Emerging Threats）※5※7**
  IPレピュテーションは、マルウェア感染ホストやDDoS攻撃元サイトなど、脅威があると判断されたホストのIPアドレスリスト（IPアドレスのブラックリスト）をもとにアクセス制御を行い、外部からの脅威を強力にガードすることが可能です。
- **アドバンスドIPS（Emerging Threats）※5※7**
  侵入防御（IPS）機能は、サービス妨害（DoS）や不正アクセスと思われる異常なイベントを検出、侵入を防止する機能です。アドバンスドIPSは、IPSの基本機能に加えて、時々刻々と変わる攻撃者の侵入方法に対してさらに幅広く対応、50カテゴリー、6万を超えるパターンを網羅し、より広範な攻撃、侵入に対処することが可能です。
- **アクセスログ（閲覧ログ）の取得**
  インターネットにアクセスした際のすべてのセッションの使用されたアプリケーションの情報も含めアクセスログが取得可能です。このログを蓄積しておくことにより情報漏洩などの事故が起こった際の確認手段の一つとして使用することができます。
  企業の情報漏洩対策や、大学などやインターネットカフェなどでは履歴管理として利用可能です。
- **GeoIP**
  特定の国からのアクセス、および特定の国へのアクセスを制御する機能です。これにより、簡易的にセキュリティーを強化することが可能です。

※4　Sandvine社提供のデータベースの使用にはオプション（別売）のセキュリティーライセンスが必要です。
※5　オプション（別売）のセキュリティーライセンスが必要です。
※6　Webコントロール機能のURL検索エンジンは、OpenText（Webroot）社のBrightCloudThreat Intelligenceと同じものを使用しています。
※7　Emerging Threats社が提供する33カテゴリーに分類されたIPアドレスブラックリストから、必要なものの選択が可能です。

●VPN（バーチャル・プライベート・ネットワーク）

IPsec VPN接続を利用した仮想網で、拠点間通信が安全に行えます。IKEv2でよりセキュアなIPsec通信が可能なだけでなく、L2TPv3による柔軟な拠点間通信を実現できます。
AT-ARX200S-GTXでは、IPsec通信において最大1000セッションまでサポートし、多拠点ネットワークを構築することが可能です。

●リモートアクセス（OpenVPN、OS標準VPNクライアント）

自宅やホテルなどから社内のPCにアクセスし、リモートでの作業が可能になります。テレワーク/在宅勤務や出張において、オフィスなど一定の場所に縛られずに、いつでもどこでも仕事ができる環境を構築できます。
リモートデスクトップ（RDP）を使って出先から社内にある自分のPCを操作しますので、情報の持ち出しをする必要がなく、万が一PCを紛失しても情報漏洩の心配もありません。

特長

●WebベースGUI/Vista Manager mini

- WebベースGUI
  機器自体の設定や監視・管理をWebブラウザーから簡単に行えます。各種インターネット接続やVPNなどの簡単設定のほか、ダッシュボードでトラフィックやセキュリティーの状態を管理・監視が行えます。操作言語は使用するWebブラウザーの言語設定に応じて日本語/英語の自動切り替えが可能です。
- Vista Manager mini
  ARXルーターに接続されているスイッチ製品や無線LANアクセスポイントの統合管理を実現するVista Manager miniに対応。マップ（接続構成図）を自動作成しネットワーク構成と状態の可視化により実態の把握が難しい有線・無線ネットワークの効率的な運用管理が可能となります。

●AlliedWare Plus（AW+）

スイッチ製品「xシリーズ」と共通のOSを採用。機能ごとにモジュール分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能となっています。これにより、旧来の方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。

●AMF Plusマスター

ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMF Plusは、統合管理を行うAMF Plusマスターと管理されるAMF Plusメンバーからなり、5つの機能によりネットワークの統合管理を行います。
また、AMF Plusは日々ネットワークの状態を収集分析によって学習し、AT-Vista Manager EXと組み合わせてお使いいただくことで、あらかじめ定義されたポリシーを用いて自動的にネットワークを最適な状態に保ちます。蓄積したデータを数値化することにより、担当者の経験で行われていた業務を平易な作業に落とし込むことができます。
標準では2メンバーまでの管理、AMF Plusマスターライセンス導入により最大11メンバーを管理できます。リモートサイトの統合管理や小規模オフィスに最適です。

- **一元管理**
  AMF Plusマスターから複数のAMF Plusメンバーを一元管理します。
- **自動構築**
  AMF Plusネットワークの自動構築およびAMF Plusメンバーの自動認識・自動設定を行います。
- **自動復旧**
  AMF Plusメンバー故障時における交換機器の自動復旧（オートリカバリー）、複数AMF Plusメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。
- **非AMF Plus装置対応**
  非AMF Plus装置の混在やWAN回線を介したAMF Plusネットワークの構築が可能です。さらに、WAN回線を介して本機能を利用しているAMF Plusメンバーの自動復旧にも対応します。
- **分散マスター処理（AMF Plusコントローラー）**
  AMF Plusマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。
  さらに、AMF PlusとAT-Vista Manager EXと連携させることにより収集・分析されたネットワーク全体の情報を俯瞰的に可視化し、ネットワーク管理者の意図に基づいてネットワークを最適な状態に保ちます。

●AMF-WAN（SD-WAN）

- **インターネットブレークアウト**
  回線トラフィックの増大やプロキシーサーバーのセッション数消費問題を解消します。URLオフロードは高速なOffice 365の通信を実現します。また、Webリダイレクト・プロキシーモードでは、Zoomなどを含んだ2000種類以上のアプリケーションをDPIエンジンで自動判別します。
  さらに、ゲートウェイで経路制御するローカルブレークアウトだけでなく、OpenVPN経由で接続するクライアントが直接経路制御を行うターミナルブレークアウトにも対応しています。
- **SD-WANロードバランス**
  トラフィックを複数WAN回線に負荷分散し、帯域を有効に利用することができます。回線状態を監視し、新たなセッションを結ぶ際に、品質のよい回線を選択してロードバランスをするといった先進的な負荷分散が可能です。IPアドレスやポート番号に加え、アプリケーション単位でロードバランスすることもでき、回線の帯域幅やSLAなどに合わせて柔軟な設定が可能です。
- **ゼロタッチプロビジョニング/オーバーレイネットワーク**
  安価なブロードバンド回線などをVPNでオーバーラップし、サービスプロバイダーを介さずにイントラネットの管理・運用が可能になります。初期導入時や故障の際の機器交換時に、AMF Plus/自動構築・自動復旧で工場出荷時状態の機器を接続するだけでネットワークの構築・復旧が可能です。もちろん、リモートサイトにおいてもゼロタッチで初期導入・交換などが可能なため、支社などの拠点に技術者を派遣する必要がなくなり、管理・運用コストを大幅に削減することが可能です。
- **WANマップ/アプリケーショントラフィックの可視化**
  AT-Vista Manager EXを利用することでWANマップを可視化できます。VPNなどの論理回線において、トラフィック状況の可視化やアプリケーション単位の表示が可能です。

●AMF-SEC（SD-LAN）

AMF-SECは、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティー装置と連携し、被疑端末（脅威検出された端末）が接続されているスイッチや、無線LANアクセスポイントのポートを自動的に遮断・隔離することが可能です。LAN内における脅威情報の拡散を防止し、ネットワーク全体の安全性を高めることができます。

- **搭載UTM機能と、外部設置 AMF-SEC（SDNコントローラー）の連携**
  本AT-ARXシリーズに搭載されているUTM機能で検出した脅威情報を、別途準備されたAMF-SECコントローラーと連携させることで、被疑端末の通信をブラックリストコントロール[遮断・隔離・報告（メール/ログ）]するシステムの構築が可能です。

AT-ARX200S-GTX

特長

●無線LANコントローラー（AWC）

無線LANアクセスポイントの電波出力やチャンネル情報を定期的に収集し最適化することで、無線LANの導入コストと運用コストを低減します。標準で無線LANアクセスポイントを20台まで管理可能なため※8、小規模オフィスでも容易に無線LANコントローラーを導入でき、外来波による影響を最小限にとどめ、最適な無線LANネットワークを維持します。

※8　AT-ARX200S-GTXは、ライセンスの追加により最大30台（標準20台＋ライセンス10台）の無線LANアクセスポイントの管理が可能です。

●無線チャンネルブランケット機能（AWC-CB）※9

シングルチャンネルのローミングレス無線環境が構築可能です。IP電話などのように無線端末を移動しながら利用することが多い環境でも、常に最適な通信状態を維持します。

※9　ライセンスの導入により最大5台のシングルチャンネルを用いた無線LANアクセスポイントの管理が可能です。

●無線スマートコネクト機能（AWC-SC）※10

無線LANアクセスポイント間を無線で繋ぐことで、これまでの無線LAN構築に必要だったサイトサーベイや配線工事の工数を削減し、無線LANの導入・運用コストを大幅に低減可能になります。

※10　ライセンスの導入により最大5台のAWC-SCを用いた無線LANアクセスポイントの管理が可能です。

●NETCONF/RESTCONF

NETCONF/RESTCONFを使用した機器の、各種情報の取得をサポートしています。

仕様

準拠規格	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3bz 2.5GBASE-T/5GBASE-T IEEE 802.3an 10GBASE-T IEEE 802.3x Flow Control※1 IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree※2 IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree※3 IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation（static and dynamic）※4	
適合規格	CE	
	安全規格	UL62368-1, CSA-C22.2 No.62368-1
	EMI規格	VCCIクラスA
	電気通信事業法に基づく技術基準	D24-0116001 L24-0026※5
	EU RoHS指令	
マネージメント※6	SNMP	SNMPv1/v2c/v3
	SNMP MIB	MIB II（RFC1213） IP Forwarding Table MIB（RFC2096） Extended Bridge MIB（RFC2674）※7 Extended Interface MIB（RFC2863） SNMPv3 MIB（RFC3411 ～ RFC3415） SNMPv2 MIB（RFC3418） Ethernet MIB（RFC3635） IEEE 802.3 MAUs MIB（RFC3636） Bridge MIB（RFC4188） RSTP MIB（RFC4318） DISMAN ping MIB（RFC4560） VRRPv3 MIB（RFC6527） Entity MIB（RFC6933） LLDP MIB（IEEE 802.1AB） LLDP-MED（ANSI/TIA-1057） Private MIB
	RMON	1,2,3,9 Group
	ターミナル	Telnet, VT100互換端末（コンソールポート経由）
インターフェース		
WAN	100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T（RJ-45コネクター） オートネゴシエーション※8 1000M/10G Full固定設定、 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定	×1
LAN※9	10/100/1000BASE-T（RJ-45コネクター） オートネゴシエーション※10 10M/100M/1000M Full固定設定、 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定	×2
LAN※9	100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T（RJ-45コネクター） オートネゴシエーション※8 1000M/10G Full固定設定、 MDI/MDI-X自動認識、MDI/MDI-X固定設定	×2
コンソール	RS-232（RJ-45コネクター）	×1※11
USB	USB3.0、タイプA（メス）コネクター、最大給電電流1.0A	×1※12
通信速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps/2.5Gbps/5Gbps/10Gbps	
使用ケーブル	10BASE-T	UTPカテゴリー3以上
	100BASE-TX	UTPカテゴリー5以上
	1000BASE-T	UTPエンハンスド・カテゴリー5以上
	2.5GBASE-T	
	5GBASE-T	
	10GBASE-T	UTP/STPカテゴリー6/6A※13
CPU	2.2GHz 4コア	

スイッチ部（LAN）	スイッチング方式		ストア＆フォワード
	パケットバッファー		256KByte
	MACアドレス登録数		4,096
	MACアドレス保持時間		300秒
LED	WANポートLED		
	LINK	緑	2.5/5/10Gbpsでリンク確立時に点灯
		橙	100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯
	ACT	緑	パケット送受信時に点滅
	LANポートLED（10/100/1000BASE-Tポート）		
	LINK	緑	1000Mbpsでリンク確立時に点灯
		橙	10/100Mbpsでリンク確立時に点灯
	ACT	緑	パケット送受信時に点滅
	LANポートLED（100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポート）		
	LINK	緑	2.5/5/10Gbpsでリンク確立時に点灯
		橙	100/1000Mbpsでリンク確立時に点灯
	ACT	緑	パケット送受信時に点滅
	USBポートLED		
	USBメモリー使用時		
	USB	緑	USBメモリー装着時に点灯
		橙	USBメモリーが認識されていない、または、書き込み/読み出しにエラーが発生したときに点灯
	USB型データ通信端末使用時		
	USB	緑	データ通信端末が認識されたときに点灯
	ステータスLED		
	FAULT	赤	ファン、内部電源ユニット、内部温度の異常発生時に点滅
	POWER	緑	電源の供給時に点灯
	FNC1/FNC2	緑	トリガー機能にて点灯、消灯の制御が可能
メモリー容量	メインメモリー		2GByte
	フラッシュメモリー		4GByte
ルーティング対象プロトコル	IPv4、IPv6		
ルーティングプロトコル	RIPv1/v2、RIPng、OSPF、OSPFv3、BGP4、BGP4+、スタティック		
サポート機能			
スイッチング	ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング、スパニングツリー（IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s）、MACアドレスフィルタリング、BPDUガード、BPDUフィルター、スパニングツリーポートファスト、PVST+ Compatibility、ポート帯域制限、ポートミラーリング、フローコントロール、パケットストームプロテクション		
マルチキャスト	PIM-SM、IGMPv1/v2/v3、IGMPv1/v2/v3プロキシー、IGMPv1/v2/v3スヌーピング※14、PIM-SMv6※14、MLDv1/v2※14、MLDv1/v2スヌーピング※14		
アドレス変換/解決/管理	ダイナミックENAT、スタティックNAT/ENAT、ダブルNAT、サブネットベースNAT、マルチホーミング、NAT46・NAT64、DNS（リレー、キャッシュ）、IPsec/ESP/PPTP/L2TPパススルー、DNSドメインマッチング		
PPP/PPPoE	PPPoEクライアント（マルチセッション、セッションキープアライブ）		
ファイアウォール/セキュリティー	ステートフル・パケット・インスペクション型ファイアウォール（ゾーンベース・IPv4/IPv6）、アプリケーションコントロール※15、Webコントロール※16、IPレピュテーション※16、アドバンスドIPS※16		
VPN（IPsec）	暗号化（ハードウェア処理）：3DES、AES128、AES192、AES256 認証：SHA-1、SHA256、SHA512、AES-GCM IKEv2、IKEv1（メイン/アグレッシブモード）		
VPN（IPsec以外）	L2TPv2、L2TPv3※17、SSL VPN（OpenVPN）※18、GRE		
冗長	VRRPv2/v3、Pingポーリング		

仕様

VLAN	タグVLAN（IEEE 802.1Q）、ポートベースVLAN	
QoS（クラスベース）	優先制御（PQ/WRR/HTB/LLQ）、帯域制限、輻輳制御（RED）、マーキング（ToS/DSCP/ トラフィッククラス）	
	分類条件：ToS/DSCP/IPアドレス/IPv6アドレス/TCP、UDPポート番号/出力インターフェース/送信元、送信先VLAN ID	
トンネリング	IPv4 over IPv4、IPv4 over IPv6、IPv6 over IPv6、IPv6 over IPv4	
アドレス管理	DHCP（サーバー、クライアント、リレー）、 DHCPv6（サーバー、クライアント、リレー）、 DHCPv6-PD（サーバー、クライアント）、ダイナミックDNS※19	
無線LANコントローラー※20	電波管理、無線APの登録・編集・オペレーション、無線AP一覧表示、無線APの情報表示、AWC計算履歴表示、管理対象APの検索、言語選択（日本語/英語）	
	管理対象アクセスポイント※20： AT-TQ5403、AT-TQm5403、AT-TQ5403e AT-TQ1402、AT-TQm1402、AT-TQ6602 AT-TQ6702 GEN2、AT-TQm6702 GEN2、AT-TQ6702e GEN2、 AT-TQ6602 GEN2、AT-TQm6602 GEN2 AT-TQ6403 GEN2、AT-TQm6403 GEN2、AT-TQ7403	
その他	AMF Plusマスター機能（2台までのAMF Plusメンバー管理）、 AMF Plusメンバー機能、ローカルRADIUSサーバー、RADIUSクライアント、 TACACS+（Accounting/Authentication/Logging）、 IEEE 802.1X認証モード（Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication）、 802.1X暗号方式（MD5/TLS/TTLS/PEAP）、MACアドレスベース認証、 Web認証、ブリッジング、 マルチプルVLAN（Port protected bridge filtering）、 ポートトランキング（IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration）、 Webリダイレクト、IPルートフィルター、ポリシーベースルーティング、 ARP、プロキシーARP、ローカルプロキシーARP、 ディレクティドブロードキャスト転送制御、UDPブロードキャストヘルパー、 VRF-Lite、SD-WANロードバランス、SD-WANリンクアグリゲーション	
管理機能※6	WebベースGUI、SMTP認証、ログ（外部メディア出力対応）、スクリプト、トリガー、USBトリガー、NETCONF/RESTCONF、NTP、 Secure Shell、 TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、sFlow	
WANサービス	ADSL、CATV、FTTH、フレッツ・サービス（IPv4 PPPoE/IPv6 IPoE/IPv4 over IPv6）、インターネットVPN、IP-VPN、広域イーサネット、移動体データ通信サービス	
オプション機能※21	最大11メンバー管理のAMF Plusマスター機能※22 10メンバー用AMF Plusマスター機能 基本ライセンス（AT-RT-APM10）	
	最大30AP管理の無線LANコントローラー機能※23 10AP用無線LANコントローラー機能 基本ライセンス（AT-RT-WL10）	
	5AP用無線チャンネルブランケット機能（AT-RT-CB5）	
	5AP用無線スマートコネクト機能（AT-RT-CB5）	
電源部	定格入力電圧	AC100-240V※24
	入力電圧範囲	AC90-264V※24
	定格周波数	50/60Hz
	定格入力電流	2.5A
	最大入力電流（実測値）	0.55A
	平均消費電力	24W（最大30W）
	平均発熱量	89kJ/h（最大110kJ/h）
環境条件	動作時温度	0～50℃
	動作時湿度	5～90%（結露なきこと）
	保管時温度	-25～70℃
	保管時湿度	5～95%（結露なきこと）
外形寸法（突起部含まず）	210（W）×220（D）×42.5（H）mm	
質量	1.4kg	
パッケージ内容※11	本体、電源ケーブル※24、電源ケーブル抜け防止フック、ゴム足（4個）、USB抜け防止器具キット（USB抜け防止器具×1、結束バンド×2、両面テープ×4）、梱包内容、本製品をお使いの前に、英文製品情報※25、製品保証書（5年間）、シリアル番号シール（2枚）	
オプション（別売）	AMF Plusマスターライセンス※26 ※27	
	AT-RT-APM10-1Y-2024	10メンバー 1年
	AT-RT-APM10-5Y-2024	10メンバー 5年
	AT-RT-APM10-7Y-2024	10メンバー 7年
	AT-RT-APM10-1Y-2024更新用※28	10メンバー 1年 更新用
	セキュリティーライセンス※26 ※27	
	UTMライセンス（複数ライセンスのバンドルパック）	
	AT-ARX2-UTM-01：アプリケーションコントロール、Webコントロール	
	AT-ARX2-UTM-01-1Y	バンドル 1年
	AT-ARX2-UTM-01-5Y	バンドル 5年
	AT-ARX2-UTM-01-1Y更新用※28	バンドル 1年 更新用
	AT-ARX2-UTM-02：IPレピュテーション、アドバンスドIPS	
	AT-ARX2-UTM-02-1Y	バンドル 1年
	AT-ARX2-UTM-02-5Y	バンドル 5年
	AT-ARX2-UTM-02-1Y更新用※28	バンドル 1年 更新用
	無線LANコントローラーライセンス※26 ※27	
	AT-RT-WL10-1Y-2024	10AP 1年
	AT-RT-WL10-5Y-2024	10AP 5年
	AT-RT-WL10-7Y-2024	10AP 7年
	AT-RT-WL10-1Y-2024更新用※28	10AP 1年 更新用
	無線チャンネルブランケットライセンス＜AWC-CB＋AWC-SC＞※26 ※27	
	AT-RT-CB5-1Y-2022	5AP 1年
	AT-RT-CB5-5Y-2022	5AP 5年
	AT-RT-CB5-7Y-2022	5AP 7年
	AT-RT-CB5-1Y-2022更新用※28	5AP 1年更新用
	AT-RKMT-J14	19インチラックマウントキット
	AT-RKMT-J15	19インチラックマウントキット（トレイ）※29
	AT-BRKT-J24	壁設置ブラケット
	マグネットシートM	壁設置用磁石※30
	AT-STND-J03	スタンドキット※31
	コンソールケーブル※11	
	AT-VT-Kit3	マネージメントケーブル（RJ-45（メス）/USB）
	CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル（RJ-45/D-Sub 9ピン）
	AT-PWRCBL-J01L/J01R	L字型コネクター電源ケーブル（左/右）※32

※1 LANポートのみ。LANポート（100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tポート）では10Gbpsでの通信時のみサポート（LANポート（10/100/1000BASE-Tポート）は制限なし）。

※2 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree包含

※3 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree包含

※4 IEEE 802.3adと同等

※5 ハードウェアリビジョンRev.C以降適合。WANポート、ポート4（WANインターフェースとして使用時）が対象。
Rev.Cより前のリビジョンではWANポートのみ対象で認証番号は以下のとおり。
D24-0045001
L24-0007

※6 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※7 Q-BRIDGE-MIBのみサポート

※8 100M/1000M/2.5G/5G/10G Full Duplexでの接続のみサポートしています。

※9 ハードウェアリビジョンRev.C以降より、任意の1ポートをWANインターフェースとして使用することができます。

※10 10M/100M/1000M Full Duplexでの接続のみサポートしています。

※11 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください（AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です）。
なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。

※12 USB 2.0またはUSB 3.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。

※13 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をお勧めします。

※14 VLANインターフェースでのみ使用可能です。

※15 Sandvine社提供のデータベースの使用には、オプション（別売）のセキュリティーライセンスが必要です。

※16 オプション（別売）のセキュリティーライセンスが必要です。

※17 L2TPv3は弊社AW+製品および一部のクラウドサービスとの接続のみをサポートします。

※18 OpenVPNでは、2要素認証やAES-GCMにも対応しています。詳細についてはコマンドリファレンスをご確認ください。

※19 接続検証済みダイナミックDNSサービスについては、弊社動作検証ページをご参照ください。

※20 対応ファームウェアバージョンなど詳細はコマンドリファレンスをご参照ください。

※21 オプション（別売）のライセンスが必要です。

※22 ライセンスの追加により最大11台のAMF Plusメンバーが管理可能です（最大ノード数は12台）。

※23 ライセンスの追加により最大30台（標準20台＋ライセンス10台）の無線LANアクセスポイントの管理が可能です。

※24 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

※25 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

※26 ライセンスのサポートバージョンについてはリリースノートおよびアニュアルライセンスページをご参照ください。

※27 アニュアルライセンスが設定された機器が故障した場合または何らかの理由で交換する際に、機器本体の保証期間内または有償保守サポートサービス契約期間内でかつライセンスの利用期限内であることを条件に、ライセンス再発行を弊社にて行います。
このとき、必要な情報を確認させていただくと共に、ライセンスの設定作業はお客様作業とします。
ライセンスの利用期限が機器本体の製品保証期間を超える場合は、有償サポートサービスへの加入をお勧めします。

※28 更新専用ライセンスになります。新規購入時の利用可能期間にかかわらず、利用期限付きライセンスを更新する場合は、更新専用ライセンスをご購入ください。

※29 AT-RKMT-J15とAT-PWRCBL-J01L/J01Rの併用はできません。

※30 本製品の設置には2枚必要です。

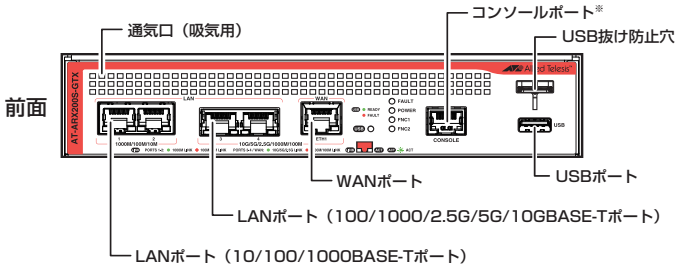
※31 設置方向（電源コネクターの位置）によっては、L字型コネクター電源ケーブルが使用できない場合があります。

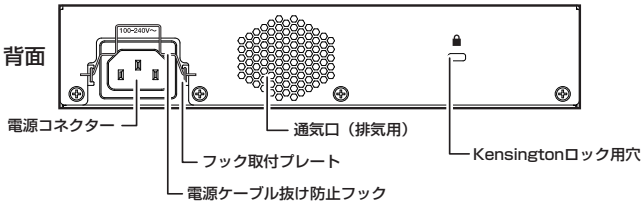
※32 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

AT-ARX200S-GTX

外観図

AT-ARX200S-GTX





※ コンソール接続にはオプション（別売）の AT-VT-Kit3 または CentreCOM VT-Kit2 が必要です。

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM、CentreNET、SwitchBlade、TELESYN、AlliedView、VCStackロゴ、EPSRingロゴ、LoopGuardロゴ、PoE plusロゴ、AT-UWC、Allied Telesis Unified Wireless Controller、SecureEnterpriseSDNロゴ、AT-VA、AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は
0120-860442 テレマーケティング（月～金/9:00～17:30）
販売店
製品のくわしい情報は（特長、仕様、構成図、マニュアル等）
ホームページ
http://www.allied-telesis.co.jp/
アライドテレシス株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル
最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください
弊社ホームページ≫会社案内≫事業所一覧